

刊夕日七十月一十

常報日新

定価 一月五拾圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
 廣告料 五號以上 一頁一圓 二頁一圓 三頁一圓 四頁一圓 五頁一圓
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常報日新新聞社
 印刷所 常報日新印刷株式会社

あいや

御立合ひ(一)

とうで山越え笠の内、用とお急ぎの無い方はお待ちお読みあれ。……これこそは宴會の餘興にお用ひあればわあつと受ける事は間違ひ無し。……さあ、傳授料は唯一の錢もいたゞかない……ササすうつとお読みあれ——

演歌

これからうたひます、新しいはやり唄。涙の渡り鳥から鳥の娘、ウチの娘から隣の娘までみんなうたひます。どうかサツと前の方へ寄つて下さい。もつともこういふ人混みになると、とかく指の曲つた人種

ノート

シモヤケにはサツマイモ少量を皮ごと水で煮つけたもので朝夕二回洗ふと特効あり

も入り込んでゐますから、どうかお互ひに氣をつけて下さい。さういふ事をする人間は眼付を見ればすぐ分る。眼は心の窓。争はれないものです。だからドイツのラー博士はうまいことを云つた眼は人間のマナコ

でなりつてね何んでもかまはないから隣にゐる奴があふないと思つてりやア間違ひはない。思はれた方でも癪に障つたら、此の野郎があぶないと思ひ返してりやアい。思つたり思はれた

【朝】すまし——せり油
 【書】焼肴——いぼだい
 【晚】わん——ハツ頭芋
 ごまみそかけ

【一】白 營業上決算の件に不和を醸す事あれば須交以吉成亥と辰巳凶
 【二】黒 金談縁談及我望事の達するの吉日なり東西凶
 【三】碧 營業上に繁忙なるも病氣の報を得る日なれば病難に注意未申丑寅凶
 【四】綠 營業繁忙の大吉日あるも然し目下の男女の法立に心配あり南北凶
 【五】黃 營業上利益のある日なれど水火の難と印形書附に注意南北凶
 【六】白 氣斗り蕉り猪武者進は凶病氣怪俄にも注意未申丑寅凶
 【七】赤 金錢問題か或は娘等の件に家内不和を來す日なれば言語に注意東西凶
 【八】白 金談縁談望事他人の應援を得て吉利の日戌亥と辰巳凶
 【九】紫 古き事件でこたへするか或は病氣怪俄に心配あるか何れも凶日なれば萬事に注意肝要



試験

試験！試験といのちを賭けて苦しむ時を越す心地くんでやりませう無限な愛を

慢心 慢心
 起さぬやうに
 撓まぬ道に
 いと——はげまして
 心の誠を
 贈りませう

高野 島野
 平島 澤野
 町易 断定
 前所 象

喜多流

鈴木傳明主演
 夏川静江
 山路ノ子
 月井里子
 如花近松
 日比谷年次郎
 大伴洋平
 日比谷年次郎
 大伴洋平

喜多流謡曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町六九
 喜多流 仕舞 白土會

◇詳細は本會へ御問合せ下さい。

旭硝子株式会社製品

板ガラス

硝子 壺
 硝子 食器
 其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
 仙臺市榮町(電話五九七番)

一冊の代金で
 御希望通りな
 五冊の雑誌が
 自由に読める

川崎巡回文庫

電六三〇番
 (申込次規則書進呈)

美味で！
 評判の……

イワキ
 サロン
 電 352

外科

門 專
 科 線 光 X

上田外科醫院

平町南町
 電話一二九番

入院隨意
 病室完備

木村病院

電話一六四番

平町新川町十九

婦人科 院長 木村寅次郎
 外科 醫學博士 内木宗八
 藥局 藥劑師 立番彌一

米の投賣

防止に融資

郡下希望者多数

石城郡下の各村では本年度米の出廻期を前にして米穀を投賣する惶れがあるのが縣では今回豫防策として米穀應急資金五十萬圓を各

巢立つ學童

平町に七百數十名

その志望別

平町各小學校に於ける來春三月の卒業兒童は尋常科が第一校百八十九名、第二校二百二十二名、第三校百二十六名、高等科は第一校八十九名、第二校百三十九名、總計七百六十五名であるが之等卒業兒童の志望別左の如くである

△第一校(尋常科)警中八
三 平商三九 高等科五
三 實業従事一四(高等科)警中七 平商四 其

他中等學校一 其他學校九 實業従事六八△第二校(尋常科)警女八一 高等科一三〇 家事及就職一一(高等科)警女五 其他中等學校一 其他學校三七 家事及就職九六 △第三校(男)警中八 平商四 高等科三二 實業従事一〇(女)警女九 高等科五一 家事及就職一

遅れ走せの

申込み續々

學童排球決行

既報締切迄に僅か一校の申込みで取止めになるのではな

郡小學校童ドッチボール大會は其後遅れ走せに昨年優勝した久之濱校を始め高

好間、高坂、平第一の十チームが相次いで申込み来たので豫定通り来る十九日開催する事になったが組合せ其他試合に関する打合せは當日行ふと

衛生課長

郡下初巡視

新任の土屋本縣衛生課長は昨十六日郡下初巡視の爲め來郡、本十七日には豊間村回春院を視察した

武器を與へず

戦争を強要

机や本箱を 持たぬ子供

津田第二校長語る

平第二小學校では此程尋常科六年生二百二十名が家庭で机や本箱を持つてゐるか否かを調べて見た所自分の物として持つて居る兒童は約半數の百二十二名で其他は食卓とか父の机等を借りて使用中には疊の上になく寝をべつて勉強してゐる子供もある事が判つた右に就いて津田校長は左の如く語つた

兒童に机や本箱を與へないのは丁度武器を與へないで戦争を強要する様なもので全く可愛想なものでないかと思つた

津田第二校長語る

自作農創設維持

資金の貸付決定

石城郡農會の斡旋で郡下各町村より縣に申請中であつた自作農創設維持資金の貸付額は勿來町菊地福壽氏の千三百圓、小名濱堀越政次氏の二千圓、川部村加藤清之助氏の千圓、總額四千四百圓貸付く旨決定したと

中堅農民視察 石城中堅農民講習生及び各町村技術員の一行八十餘名は明十八日午前九時自動車に分乗して相馬郡原町養蠶學校に開催中の濱三郡農産品評會を視察する

炭界活況の折柄

古河新斜坑竣工

來月早々一日千噸増炭

好間村古河炭礦では昭和四年より工費八十萬圓を投じて開鑿工事中であつた第二新斜坑が愈々竣工したので來月十九日午前十時より山神社境内で盛大な竣工式を舉行するが同坑は來年一月より一日千噸平均に採炭する豫定である

新射撃場視察 既報石城在郷軍人聯合分會は明十八日午前十時より役場會議室に評議員會を開き射撃場竣工式其他の件を協議するが午後一時からは神谷村に至り新射撃場の視察を行ふと

驛傳競走やり直し

此の間のは中途から降雨で

記録が不正確

平第一小學校では去る十一日町内一周一萬八千八の驛傳競走を行つたが中途で生憎降雨に遭ひコンデーション頗る悪く正確な記録を計る事が出来なかつたので明日午前十時より改めて再び決行すると

三名以上

赤十字社員

知事の表彰

平町長青沼鋒太郎氏外高久村鈴木松之丞、平窪村松崎松治、鹿島村佐藤善太の四氏は今回の赤十字デーに際し一家三名の特別社員及び終身社員に加盟し居るを以つて五日付畑山知事より表彰された

如何なる御家庭にも

なくてはならぬ必需品……

高級 日の出磨粉

値段が安く而も極少量でも何でもキレイになり、お手をアラス事なく僅かの時間で早くキレイになる衛生と緊縮とを兼備せる、眞に時代の要求品であります是非御試用の程おすゝめ致します

特約店 芳賀商店

平白銀町 (大音堂向)

科人婦。科外
院醫坂井

町田町平
番九五五話電

門專 科病柳花外
院醫科外村木

際橋目丁五町平
〇九三話電

りあ便の院入炊自

突如強風の脅威

但し今晚はしずまる

電話は相次いで倒れ

▽ニ子橋の欄干形なし

各漁濱は無事

けさは夜来の雨が全く降り止んで和やかな日さしを見せて居たが

正午頃 から俄然西北の烈風吹き荒み礫をとばして街路の通行危険となり屋根看板、煙突等の倒壊無数に生じ電燈柱相次いで倒れ此稿を締切る午後

三時迄 判明せるもの

▽みでも好間大館地内の三本、古鍛冶町の一本、才判所前の一本、飯野村谷川瀬の三本等ありニ子橋の手スリは全部飛ばされて影も形もなくなり頭上に負傷した

通行人もある幸ひ未だ海岸地方や鐵道其他人家

等には風害がない模様で小名濱側候所の観測に依ると昨日来雨を降らした低氣壓が北海道東部に至り急激に發達して七三二ミリの

となり此の氣壓の傾斜に依つて當地方に十二米の強風を生じたものにて夕方には多分吹き止み今晚も風はあるが大した事はな

との事である次ぎに東部電力平營業所は電柱が大分やられた模様ですが

直ちに 應急工事を施しましたから動力電燈共に送電の出來ぬ様な心配はありませんと語つた

便所の中で

女生徒悲鳴

覗き込む變態兒

けふ大騒ぎの平第二校

本日本午後一時半頃平第二小學校高等科第二學年の女生徒が便所へ行つた所汲取り

口より覗き込んで居る者があるので驚いて悲鳴を擧げ大騒となり飛び出した職員

が逃ぐるを追つて取押へ平署に突出したが右は相馬郡小高町生れ目下平町田町某商店の小僧横山五郎(一六)假

國際愛を結ぶ

アルバム發送

美麗な出來榮

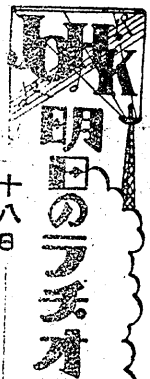
けふ平第二から

平第二校少女赤十字團より米國少女赤十字團のクリスマスプレゼントとして作製中であつた書方、手藝品、圖書等の成績品は既報の如く全部出來上り本日美麗なアルバムに收め發送した

才判所閑散

件数が減少

平區裁判所に於ける去月中の刑事取扱件数は略式七、公判一、計八件で昨年の同期略式一三、公判七計二十件に比し十二件の減を示してゐるが今月は未だ略式が僅か二件のみで公判は一件もなく閑散の態である



明日の天気 今晩も明日も北西の風天気よくなる

今晩の部

▲後六、〇〇(子供の時間) お話「話のお取次」平塚運吉
▲後六、二五 基礎佛語講座 (十八) 目黒三郎
▲後七、三〇 講演「日本と歐米の醫學に就て」名古屋醫科大學教授醫學博士 齋藤眞
▲後八、〇〇 諸曲「鬼界ヶ島」針生惣吉外
▲後八、三〇 マルユニ候爵 歡迎會實況
▲後九、〇〇 晚畫物語「しき天」鈴木利夫
▲後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組識告

全校生徒に海人草を服用せしめた

平町の虎眼檢診

來月四日頃から一週間

平町役場では全市内のトラホーム檢診を來月四日頃より一週間の豫定で一齊に執行する事となつたので近く市内各眼科醫と連絡上の打合せを行ふた

正木校長出縣 警女校長正木貞二郎氏は教育事務打合せの爲め昨日平發午後二時十五分にて福島に出張した

讀書熱鼓吹

警女の圖書部

内容を充實

警女圖書部では過般來充實を圖り續々新刊を購入し漸く此程取り揃つたので今後毎月生徒の閱覽統計を作ら大いに讀書熱を鼓吹する事になつたと

腹虫退治

警女で服用

警女では今回の赤十字デーに際し蛔蟲驅除の爲め本日

潜り桂庵

平署に檢舉

内郷村大字高坂字三本杉安藤安之助(一八)は無免許去て

看護婦急派

の求めに應じます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

平職業紹介所報告 回人を求める方 △農夫 三十才 委細面談 (鹿島村某)

△雜役 二十前後 尋卒 月十圓(平町某) △小店員 十五才 尋卒 仕着小遣 給料面談(平町某) △賣子 三十才 尋卒 給料歩合(平町某) 回職を求める方 △自動車助手 二十一才 尋卒 給料面談(平町某) △女中 十八才 高卒 給料面談(江名町某) △看護婦見習 十八才 高卒 給料面談(植田町某) △看護人 三十五才 尋卒 給料面談(平町某)

銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶馬琴演
山本英春畫

第九十二回 血に飢ゆる村正

斬られに飛出す
「サア誰だと思ふんだ、
憚りながら番屋の久太だ、
篋棒めこんな片ツ隅に居た
つても江戸向の仲間と交際
をしてゐる久太だ、吉原へ
來やアがつて飛んでもねえ
奴だ此の久太の業ア見ろ」
と言ひながら打つて來る
奴を次郎左衛門眼を開いて
後へ退り身構へたが、氣に
狂ひは生じて居ても心に狂
ひは更にはない、バツと身を
躍らして飛ぶよと見えたが
しが、久太は逃げ損つて眞
向からあごまでバツリ割り
付けられました、なまじな
ま中に此男は田町の伊丹傳
兵衛の門人にて鹿島流の棒
をひねくるのが此の男の自
慢……往昔大阪の堂島に水
に這入つて水中に溺れざる
傳授といふ札を掛けて一人
に就いて金百疋宛取りまし
た、サア傳授を受けに來た
事影しい、前金に皆一分宛
取つて仕舞つた
先生「サ此方へが具んなさ
い」
と昇て置いて端から順に
腰の所へ墨で以て、チヨイ
と點を打ちました
客「先生……是は何でござ
いますか灸でも先生ナ

灸など點えるには及ばん」
客「左様なれば此墨さへつ
けて下されば死ぬやうな事
はございませんか」
先生「如何な水泳を知らな
い者でも決して死ぬやうな
事はござらん」
客「然し墨が消えたらいけ
ますめえ」



先生「ナ
ニ消えても墨が付
いて居ると思へばよい」
客「へいそりや又何か御禁
呪でも……」
先生「されば……此墨の付
いて居る處より深い處へ這

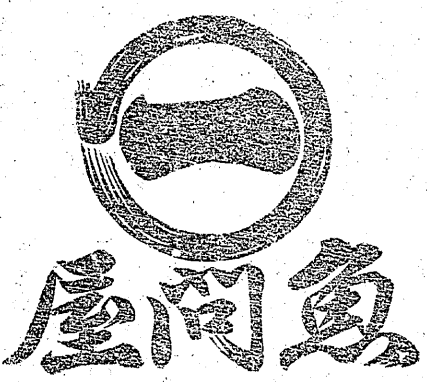
入らなければ溺死する氣づ
かひない……」
と云ひました、馬鹿げ
た様な御話でございます、
ツイ窓から斯様なベレンニ
遣ふ事が往々ございます、
馬に乗る者はよく馬から落
ちる、水を知る者は水に溺
れる、其を貫いてならば宜
しいが、生半過な事は一番
いけません、やりかけたら
は何處までもそれを貫かな
ければいけませんのでござ
います、此の久太などは世
に謂ふ生者知り馬鹿天狗、
己獨りで極めを定めまして
師の極めの無い男だから斯
様な死方を致しましたのは
氣の毒な事、入代つて其處

出す、見物一同
甲「やア出やアがつた〜
……何だあれは」
乙「提灯じるしの吉兵衛て
んだ、孔雀長屋の傍に居る
んだ何だつて出やがつたん
だらう……」
丙「何か心得があるから出
たんだらう、平常はしるこ
を賣つたりすいとんを賣つ
たりしやアがるだ……ヤ
イすいとん屋、しるこ屋甘
く見られるな確つかりやれ
吉「見物の方々……細工は
流々仕上げを黙つて見て御
出でなさい……次郎左衛門
殿和郎故に吉原の中へ斯様
大事を押し始めて何時乃公
が家業が出来るか先の知れ
ねえ事だ、吉原の提灯じる
と、吉兵衛の饅飽と人にも
謂れて居る乃公だ、子供の
三人もあつて加之に娘が大
い腹ア抱へて居るもんだか
ら、其にやア何時よりも今
度は腹が餘計に大きいか
双子かも知れぬえ菜の上に
も三貫と云ふ誓へもあるか
ら、養計入費も懸るだらう
國から出て來て此の吉原へ
來て此處の御庇蔭で飯を喰
つてるんだ、さうして見り
やア此の吉原様と云ふ新名
前に對しても我慢しちやア
居られぬえ、乃公斯うやつ
て居羽打枯らして居るけれ
ど國へ行つて見る、人にも
重く用ひられ居る信州順坂
で親爺は名主だ」
甲「グズ、云つて居ねえ
で早くやんねえ、信濃の國
の流儀で饅舌つちやアいか
ねえ口より手の方を先へや
れ」

吉「黙つてろヨ乃公が國か
らア皆豪傑ばかり出て居ら
ア、眞田幸村、善光寺様と
云ふ御如來様もありやア戸
隠山と云ふ山もあるし、乃
至は姥捨山、川中島」
乙「モウそれつさりあるめ
え」
吉「まだあらア蕎麥ア國の
名物だ江戸の奴等ア意氣地
がねえ信濃流の働を見ろ、
サア次郎左衛門覺悟をしろ
ツ……」
と天秤棒で打つて掛つて
來るのを二打三打渡り合ひ
ました、此奴心得のある
ものと見えて次郎左衛門聊
か退つた見物一同は片づを
飲んで
甲「オー中々感心な者だ……
確つかりやつて貰ひませ
う」
乙「お頼み申しますせ」
此方は吉兵衛息をも吐か
せず打ち込んで行くが如何
なる譯か横に流れた時に身
を開いて次郎左衛門、乗込
で斬つたる爲に饅飽屋は往
生を遂げました。

吉「黙つてろヨ乃公が國か
らア皆豪傑ばかり出て居ら
ア、眞田幸村、善光寺様と
云ふ御如來様もありやア戸
隠山と云ふ山もあるし、乃
至は姥捨山、川中島」
乙「モウそれつさりあるめ
え」
吉「まだあらア蕎麥ア國の
名物だ江戸の奴等ア意氣地
がねえ信濃流の働を見ろ、
サア次郎左衛門覺悟をしろ
ツ……」
と天秤棒で打つて掛つて
來るのを二打三打渡り合ひ
ました、此奴心得のある
ものと見えて次郎左衛門聊
か退つた見物一同は片づを
飲んで
甲「オー中々感心な者だ……
確つかりやつて貰ひませ
う」
乙「お頼み申しますせ」
此方は吉兵衛息をも吐か
せず打ち込んで行くが如何
なる譯か横に流れた時に身
を開いて次郎左衛門、乗込
で斬つたる爲に饅飽屋は往
生を遂げました。

鹽か 鯉節漬出



店理代平命生本日本大最優最
榮 盛 賀 志
(三一二電)目丁四平

吸入用酸素

純度 99%

体温計
寒暖計

度量衡
モノサシ
ハカリ

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町田町 電話五一三番